

瀧上不動産株式会社 古山社長へのインタビュー  
～りんくう常滑駅前プロジェクト～

**Q1. 常滑市を選んだ理由について**

A1. 今回のプロジェクトは、中部国際空港線とセントレアの対岸に立地する「空港対岸部地域開発用地」の土地、約 1,000 坪を開発主体である愛知県より購入し、賃貸マンションを建設するというプロジェクトです。

2005 年に開業したセントレアは、中部圏から日本各地そして世界を結ぶ国際空港としての存在意義、重要性が今後益々高まっていくものと考えられます。

今回のマンション建設用地は、名鉄常滑線：りんくう常滑駅の目の前に立地し、駅の反対側にはイオンモール常滑等の商業施設がありますので、セントレアに勤務される方の居住には大変便利な場所です。

セントレア関連企業の従業員用借り上げ社宅としての法人需要等も期待できる立地として、セントレア対岸に位置する今回の常滑市の土地を選定したものです。

**Q2. 瀧上不動産(株)の社長として地鎮祭を無事に終えた、今のお気持ちはどうですか？**

A2. 瀧上不動産(株)は、昭和 49 年以降は実質的な営業活動を停止しておりましたが、今般、瀧上不動産(株)が瀧上工業グループ各社の保有する不動産に係るプロパティ・マネジメント（不動産賃貸事業に係る企画・運営・管理等のアドバイス）業務を受託し、瀧上工業グループの不動産賃貸事業の強化を図る体制を構築しました。

その一環として、本件プロジェクト推進の事業主体は瀧上不動産(株)としましたので、再稼動した瀧上不動産(株)として初の地鎮祭を執り行う事になったものです。

賃貸マンション建設工事が順調に進捗し、来年 8 月の竣工が無事に迎えられよう祈っております。

**Q3. 今後の意気込みなどをお聞かせ下さい。**

A3. 瀧上工業グループは、中期経営計画における経営戦略の一つとして「入札だけに頼らない企業体を作る」という多角化の概念を掲げております。

明治 28 年創業の瀧上工業グループは、その長い歴史の中で、現在稼働中の工場・事務所等の不動産に加え、工場・事務所・社宅・構成施設等の跡地を多数所有しております。その「不動産」という経営資源の有効活用は、瀧上工業グループの経営戦略における重要テーマと認識し、グループ各社の皆さんと協同しつつ、不動産賃貸事業の強化に取り組んで参りたいと思います。